

茶道で感じる音

鶴見大学附属高等学校2年（神奈川県）

河田 風音

お点前をしていると水の音や茶筌の音しか聞こえてきません。それを心地良く感じる様になったのは最近のことです。

私は最初、お点前を見ていた時、静かすぎてお点前が行われている空間がとても気まずく感じました。お点前を見る側でも見られる側になっても緊張していました。しかし、先輩を見ると静かにお点前を見つめていてこの空間をじっくりあじわっているように見えました。私にはその時、先輩達の感情があまり理解出来ませんでした。そんな私の気持ちに変化があったのは高校2年生になり、後輩が入ってきた頃です。

私も後輩ができお点前を見ることも少し増えてきました。ある時、後輩のお点前を見ることになった時、この子の茶筌通しはいい音だなとふと思いました。その空間はとても静かで誰一人喋ることはありませんでした。しかし、私は確かに音を楽しんでいるなと思いました。この時にやっと先輩のいっていた感情が理解出来ました。先生の教えを聞きながらお点前を見るのも良いですが、たまにはお点前というものを目や耳などで楽しむのも良いと思いました。このことに気づいてから高校1年生の時には気づけなかった一人一人の音をよく聞くようになりました。音を聞いていると一人一人個性があり、優しい音や元気な音などいろいろな音に感じました。今ではお点前を聞くのも茶道での楽しみの一つとなっています。

今回の出来事で私は茶道には本当にいろんな楽しみ方があるのだと感じました。きっと私がまだ、気づいていないだけで他にも様々な楽しみ方があるんだと思います。今は気づくことが出来ないかもしれませんが、このまま茶道を続けていくうちにもっと茶道のことを理解していったらとても嬉しいなと思います。なので、そのためにこれからも茶道が上手になるように精進していきたいと思っています。